

タジキスタン国におけるダム・水力発電の効率化に向けた調査事業の開始

2025年5月13日
関西電力株式会社
株式会社気象工学研究所
株式会社ニュージェック
株式会社 KANSO テクノス

関西電力株式会社、株式会社気象工学研究所、株式会社ニュージェック、株式会社KANSOテクノスの4社(以下、関西電力等)は、経済産業省から受託[※]したタジキスタン共和国(以下、タジキスタン国)におけるダム・水力発電の効率化に向けた調査事業を本日から開始します。

タジキスタン国は中央アジアの南東部に位置し、国土の90%以上を山岳地帯が占め、東部には世界有数の氷河が広がるなど、水資源が豊富な国です。

タジキスタン国の年間発電電力量の90%以上は水力で発電しており、タジキスタン国にとって水力発電は不可欠なものですが、水力発電量が増加する夏季は周辺国に電力を輸出する一方、厳しい寒さにより電力需要が増大する冬季は、河川水量の減少等による電力が不足する課題を抱えています。

関西電力等は、それぞれの知見と技術力を活かし、タジキスタン国におけるダム・水力発電の効率化に資するマスタープランの策定およびアクションプランの検討を行うことにより、水力発電所の運用効率化による水力発電量の増大、水資源の有効利用、さらには中央アジア諸国のカーボンニュートラルの実現等に貢献してまいります。

※経済産業省が「令和5年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業委託費(中央アジア・コーカサスとの経済連携強化に向けた戦略策定及び我が国企業の海外展開促進等調査)におけるマスタープラン策定等調査事業」を公募し、気象工学研究所等が応募、3月31日に採択され、5月2日に経済産業省の公募事務局(委託事業者)であるアーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社と再委託契約を締結。

以 上

別紙：タジキスタン国におけるダム・水力発電の効率化に向けた調査事業の概要

別 紙

タジキスタン国におけるダム・水力発電の効率化に向けた調査事業の概要

【事業の概要】

体 制：関西電力株式会社、株式会社気象工学研究所、株式会社ニュージェック
および株式会社KANSOテクノスによる共同実施

対 象 国：タジキスタン国

期 間：2025年5月～2026年2月（約10カ月）

事 業 内 容：電力事情および水力開発計画等の把握
ダム・水力発電における課題の分析および効率化策の検討
ダム・水力発電効率化マスタープランの策定
タジキスタン国政府関係者等への提案
マスタープラン実現のためのアクションプランの策定

役 割：下表のとおり

	関西電力	気象工学 研究所	ニュージェック	KANSO テクノス
電力状況および水力発電計画等の把握	○		○	
ダム・水力発電における課題の分析 および効率化策の検討	○	○	○	○
マスタープランの策定	○	○	○	○
アクションプランの策定		○		

位 置 関 係：



【関係各社の概要】

・ 関西電力株式会社

代 表 者：取締役代表執行役社長 森 望

設 立：1951年5月

所 在 地：大阪市北区中之島3－6－16

事業内容：電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス供給事業等

・ 株式会社気象工学研究所

代 表 者：代表取締役社長 小久保 鉄也

設 立：2004年9月

所 在 地：大阪市西区京町堀1－8－5

事業内容：気象・防災に関する調査、研究等

・ 株式会社ニュージェック

代 表 者：代表取締役社長 山林 佳弘

設 立：1963年9月

所 在 地：大阪市北区本庄東2－3－20

事業内容：総合建設コンサルタント

・ 株式会社KANSOテクノス

代 表 者：代表取締役社長 岡田 達志

設 立：1974年1月

所 在 地：大阪府中央区安土町1－3－5

事業内容：環境に関する調査、土木・建築工事、水力発電設備の保守・
運転・維持等

以 上